

地方創生交付金等に係るKPI(主な重要業績評価指標)

●:目標値を達成(18) ●:改善したが目標値に達していない(11) ●:後退した(4)

事業年度:H28～

NO	交付金等の種類	担当課	事業の名称 【事業期間】	事業内容	重要業績評価指標 (KPI)												
					指標	単位	H27年度 末 (事業前)	H28年度末		H29年度末		H30年度末		事業期間終了時			
								指標値	実績値	指標値	実績値	指標値	実績値	計画終了 年月	指標値		
1	地方創生加速化 交付金	商工政策課	次世代産業創造支援事業(フェーズⅡ) 【H28.3～H29.3】	・ 海外の医療機器有力ディーラーや医師等が求める機能(操作性)を有する「鯖江産医療機器」の試作開発や、「産地発スマートグラス」の試作発表による各種業界からの引合い(技術ニーズ)を満たす技術開発を支援した。 ・産地が誇る高い加工技術のPRを目的としたWebサイト(平成27年度事業で構築)を多言語化した。 ・鯖江ブランドの確立を目指し、眼鏡産地での開催は20年ぶりとなる「眼鏡見本市」を開催した。 ・自社製品のブランド化を目指す市内企業等を対象として、知見ある専門家の指導の下、各社のブランド構築に向けた具体的な計画策定を支援した。 ・産地情報の発信、イベントによる情報拡散、消費者との接点構築等の継続・強化、有力バイヤー等との「売れる製品」協業開発、産地ブランド確立に向けた体制整備等を行った。	海外における医療機器商社、医師における本市産医療器具の試用・試験採用件数	件	10	25	63	33	160	40	300	H31.3	40		
本市産医療器具の海外からの受注額				千円	0	15,000	23,000	107,500	110,000	200,000	183,000	H31.3	200,000				
ウェアラブル機器分野における産地企業への商談件数(技術相談も含む)				件	10	15	22	20	14	25	21	H31.3	25				
(一社)福井県眼鏡協会が運営する眼鏡産地アンテナショップ(東京・鯖江市)2店舗の来店者数				千人	48	50	52	55	125	60	208	H31.3	60				
2			伝統工芸とITを生かした地方創生事業 (フェーズⅢ) 【H28.3～H29.3】	越前漆器のさらなる知名度向上と需要拡大を図るため、 ・地域ブランディング協会と連携し、世界基準の地域ブランドの確立と運用に向け、産地の若手経営者を対象としたデザインセミナーやワークショップを開催した。 ・日本政府観光局(JNTO)WEBサイトへの記事掲載(ペイパブ)や市観光パンフ、市ホームページの多言語・レスポンス(様々な携帯端末への対応)化等を行った。 ・日本漆器協同組合連合会(日漆連)など関係機関と連携し、ユネスコ無形文化遺産登録に向けて、シンポジウムや国際漆芸家による特別展示会を開催した。 ・外国人観光客入込数の増加に繋げるため、和食でのおもてなしや民泊の促進に向けた支援を行うなど、環境整備を行った。	ラポーゼかわだ・農家民宿等外国人宿泊数	泊	57	140	77	320	87	500	81	H31.3	500		
産業観光等体験者数					人	1,583	1,400	1,457	3,200	1,619	5,000	1,797	H31.3	5,000			
海外向け商品開発件数					件	5	10	30	20	21	30	67	H31.3	30			
観光客およびECサイトを通した売上高					万円	1,233	3,300	2,683	6,250	4,079	9,200	5,008	H31.3	9,200			
3			丹南伝統工芸5産地連携未来プロジェクト 【H28.3～H29.3】	・5産地が協働で物販施設での展示販売や旅イベント等に出展したほか、産地の職人、クリエイター等を対象としたデザイン教室の開催、「食」「学び」「生活」等の要素を組み合わせた体験の提供を行った。 ・福井県で伝統的工芸品月間全国大会(サンドーム福井等)が開催されるのにあわせ、5産地連携のフェスタを開催した。 ・伝統工芸に携わりたいと考えている若者が、高い技術の習得だけでなく、魅力ある商品づくりのためのデザインや経営的な視点を学ぶ職人養成講座を実施した。	産業観光施設入館者数(うるしの里会館)11万人(平成27年 10.2万人)	万人	10	11	10	12	10	13	9	H31.3	13		
4	地方創生推進 交付金	総務課 都市計画課 商工政策課			つつじバスによるコンパクトシティ・プラス・ネットワーク推進計画 【H28.10～H31.3】	・市内のほぼ全域をカバーするコミュニティバス「つつじバス」路線のH29年度からの再編に向け、音声案内ソフト編集、バスロケーション・接近情報サービス(丹南病院内)システム修正、主要バス停上屋設置(3箇所)、バス停時刻表修正等、待合所接近情報案内システム導入、バスのリアルタイム位置情報・乗り継ぎ案内スマートフォン用アプリ導入を行った。 ・市内の案内表示板やパンフレットを外国人にも認識しやすい表記に修正した。	つつじバス年間利用者数	千人	187	187	183	190	137	195	144	H31.3	195
中心市街地周辺の人口							人	2,017	1,997	1,972	1,987	1,931	1,987	1,928	H31.3	1,987	
年間観光客入込数							万人	182	184	182	186	176	188	188	H31.3	188	
5	地方創生拠点 整備交付金	商工政策課	新たな客層開拓に向けた観光拠点整備事業 【H29.3～H33.3】 (工事期間:H29.9～H30.3)	「ラポーゼかわだ」の遊休中の浴室を改修し、ヨガなどを行う屋内運動場やテレビ会議ができるミーティングルームを整備するほか、宿泊室の洋室化や伝統工芸品の良さを感じることができるような模様替えなどを行う。	ラポーゼかわだ宿泊数	人	5,612	5,000	4,431	6,000	3,888	6,500	5,705	H33.3	7,500		
ラポーゼかわだ体験設備利用者数					人	11,593	11,000	10,024	12,500	9,280	13,000	10,352	H33.3	14,000			
ラポーゼかわだ総売上額					千円	183,351	175,000	166,817	185,000	152,378	190,000	169,391	H33.3	200,000			
6	企業版ふるさと 納税※	建築住宅課	鯖江市空き家利活用マッチングプロジェクト 【H28.8～H32.3】	平成27年に作成した空き家データベースをもとに、所有者が利活用を検討し良好な空き家物件の状況を調査し、空き家情報バンクに掲載するなど利用希望者を募る。 空き家をサテライトオフィス、厚生施設、一時居住施設などとして利活用を申し出た企業の使用目的に合致するように改修工事を行う所有者および賃借者に補助金を交付する。	空き家所有者からの利活用申込数	人	0	28	6	30	18	32	32	H32.3	34		
					空き家利活用件数	件	0	0	0	7	6	14	9	H32.3	21		
					空き家利活用による交流人口	人日/年	0	0	0	420	4,996	420	954	H32.3	420		
					本事業による移住・定住者数	人	0	0	0	5	5	10	5	H32.3	15		

※企業版ふるさと納税:地方公共団体が行う地方創生の取組みに対する企業の寄附について、税額控除の優遇措置を受けることができる

事業年度：H29～

NO	交付金等の種類	担当課	事業の名称 【事業期間】	事業内容	重要業績評価指標（KPI）										
					指標	単位	H28年度末 （事業前）	H28年度末		H29年度末		H30年度末		事業期間終了時	
								指標値	実績値	指標値 （事業前の値からの増減値）	実績値	指標値 （事業前の値からの増減値）	実績値	計画終了年月	指標値 （事業前の値からの増減値）
7	地方創生推進交付金	商工政策課	「めがねのまちさばえ」次世代産業支援事業 【H29.6～H34.3】	・国際見本市への出展を支援した。 ・企業毎の経営力・ブランド力向上と、産地全体のブランド確立を目的とした実践的な学習機会の提供、産地全体のPR等の活動に継続して取り組んだ。 ・こだわり消費者に高い訴求力を持つセレクトショップと協業し、売れる商品の開発手法を実践を通じて学ぶ機会を設けるとともに、同ショップが主催する人気「工芸イベント」を本市で共同開催。本産地ならではの「ものづくり」を直接消費者に伝え、産地PRの強化を図った。 ・漆器の原点「漆文化」を紐解きながら商品開発や各種情報発信に取り組むことで「ユネスコ無形文化遺産登録」を目指した。さらに、海外販路開拓やインバウンド対応を視野に、専門家の指導の下、海外の生活様式や趣味嗜好に応じた商品開発準備にも取り組んだ。	産地業界団体が運営する眼鏡産地アンテナショップ（東京・鯖江市）、うるしの里会館（鯖江市）計3店舗の来店者数	人	160,000	-	-	2,000	63,000	5,000	139,644	H34.3	20,000
					ウェアラブル情報端末関連企業をはじめとする成長産業分野との商談成立件数	件	5	-	-	5	6	10	117	H34.3	45
					世界の医療機器商社や医師における本市産医療器具の試用・試験採用件数	件	30	-	-	40	120	85	270	H34.3	250
					本市産医療器具、部品加工等の受注額	千円	40,000	-	-	60,000	180,000	160,000	280,851	H34.3	730,000
8		商工政策課	越前ものづくりの里プロジェクト 【H29.6～H32.3】	伝統工芸5産地が丹南地域に集積している特色を活かし、知名度向上と需要拡大を図り、さらに産地への誘客へと結びつけるため、5産地が連携して、 ・県外バイヤー等を対象とした産地ガイドツアー、レセプション、商談会を開催 ・「越前古窯博物館」開館記念式典、「岡倉天心」に因んだ茶会等を開催 ・サンドーム福井に新設された福井ものづくりキャンパスにおいて、デザインラボ産地見学会やものづくりに役立つ教室を開催 ・産地職人の後継者育成・ブランディング教育を実施	伝統工芸産地（丹南地区）の主要施設の入込客数	人	34,000	-	-	10,000	65,000	20,000	91,244	H32.3	30,000
					伝統的工芸品（7品目）の生産額合計	百万円	8,900	-	-	275	335	550	231	H32.3	825
					伝統工芸職人塾生数（延べ人数・長期短期含む）	人	50	-	-	20	43	40	36	H32.3	60
9		商工政策課	2020年東京オリ・パラと連動した「めがねのまちさばえ」強化事業 【H29.11～H32.3】	・津田塾大学と連携して、訪日外国人向け土産品等の開発に向けた情報収集・情報共有（市内企業の製品、オリ・パラ観戦に必要な製品）、今後の計画策定および市内企業の参画についての説明等準備を行った。 ・国立情報学研究所と電気通信大学が有する世界最先端のIT技術と「医療・ヘルスケア」の知見、慶應義塾大学大学院メディアデザイン科が有する人間工学や福祉・介護現場における課題データ等を活かすことで、ユーザビリティの高い装具や、福祉・介護用品の開発に向けた情報を整理し、製品開発に向けた準備を行った。 ・国立情報学研究所と協働で鯖江市の主要スポットに機器を設置し、人の動き（いつ、どこからどこへ人が動いているかなど）の情報を収集した。 ・「仮面女子」メンバーを鯖江市の課長に任命し、様々な行政施策等に参画してもらい、SNSでの情報拡散、メディアへの情報提供等での情報拡散を行った。 ・国連の友アジアパシフィックが眼鏡産業などのものづくりやまちづくりで輝く本市の女性を紹介する番組を制作。平成30年度に国連NY本部、中国、韓国など世界各国へ紹介した。	新たに開発する訪日外国人向け土産品、海外向け製品（工芸品等）の売上高	千円	0	-	-	0	0	3,300	7,200	H32.3	11,100
					世界の消費材関連商社や小売店等との商談成立数	件	0	-	-	0	0	6	6	H32.3	19
					世界の福祉・介護関連商社との商談成立数	件	0	-	-	0	0	6	6	H32.3	19
					新たに開発する装具等の福祉・介護用品の売上額	千円	0	-	-	0	0	5,500	6,200	H32.3	42,000
10	地方創生拠点整備交付金	社会福祉課	生涯活躍のまちの推進に資する世代交流の拠点施設の整備事業 （工事期間：H29.12～H30.3）	多機能型健康福祉施設である神明苑を、生涯健康で過ごせるまち、世代間交流、ノーマライゼーションの「場」の拠点と捉え整備した。車椅子にも対応できる新たな広い洋室、高齢者や外国人を含む観光やビジネスに対応した洋室、ロビーへの交流スペースの設置および館内の廊下床等の安全性の向上を行った。 ・2階の和室4室を洋室化しトイレを新設、1階の4室は拡張し洋室2室にしユニットバスを新設 ・ロビーや受付の模様替え、ロビーへの地域資源を活用した交流スペース設置 ・廊下及び児童室壁床の張替えによる安全性の向上 さらに、施設整備の効果の促進を図るため、次のソフト事業も展開した。 ・スポーツ施設を活用した障がい者スポーツ大会等の開催（健康づくり・共生事業） ・若者も集えるスポーツ事業の充実（健康づくり事業） ・高齢者と子ども遊び教室（世代間交流事業） ・地域の観光資源の掘り起しと観光ガイド育成による来訪者へのサービス提供（世代間交流・共生事業） ・介護予防教室の開催（健康づくり・共生事業）	神明苑宿泊数	人	4,454	-	-	-454	-1,143	-54	872	H34.3	1,046
					体育施設利用者数	人	13,325	-	-	-825	883	-525	3,037	H34.3	675
					神明苑総売上額	千円	165,777	-	-	-5,777	-15,744	-777	-645	H34.3	6,223